

不動産システムバージョンアップ情報(Ver2025.1028.1000)

令和7年10月28日(火)に不動産システムの最新版をアップデートしました。
アップデートの内容は以下のとおりです。

1. 受託事件一覧の検索条件に「請求番号なし」の条件を追加しました。

受託事件一覧の検索条件に「請求番号なし」の条件を追加しました。

請求・入金システムを所有し、請求・入金システムとデータを連携している必要があります。

請求番号なしにチェックして検索を行うと、不動産システムから請求システムを作成していない事件のみ表示されます(見積書のみ作成されている事件は表示されます)。

請求書が作成されている事件は受託事件一覧に表示されません。

2. 調査士の事件簿の年度切替の日付設定を可能にしました。

土地家屋調査士の事件簿の年度切替の月を設定する機能を追加し、設定の月にパソコンの日付が過ぎると左上に表示されている受託年が変更されます。

初期値は1月になっていますので、事務所にあった条件の月を設定してご利用ください。

パソコンの日付が4月になると事件番号が変わります。
3月までは前年の事件簿を作成する場合は、4月に設定してください。

3. 物件台帳に不動産番号のみでも登録できるように制限を変更しました。

物件台帳を登録の条件に不動産番号のみの入力でも登録可能に制限を変更しました。

不動産番号又は所在、地番（家屋番号）が未入力の行は登録されませんので、ご注意ください。

4. オンライン申請に関する不具合を修正しました。

(1) 同一の申請データで2回取次を行った後に同じ申請データで再申請を行えない不具合を修正しました。

(2) SQLServer 版のデータベースを使用している場合に、検索用情報の申出を一括で行う場合にシステムが強制終了してしまう現象を修正しました。

5. 親の重複データが作成される不具合を修正しました。

婚姻の日付の登録位置によって、重複する親のデータが作成される不具合を修正しました。

日付	原因	配偶者	番号
	出生		
	婚姻		
	婚姻	甲山太郎	001
	死亡		

※婚姻関係の先頭の行に配偶者がいない行がある場合は登録時に削除します。